

交流センター建設に向けて

会長あいさつ

皆様、お元気でしょうか。ここにまちづくり協議会広報誌第7号をお届けします。

昨年は新型コロナの問題で大変な1年でした。感染防止のため、会議がもてず、交流センターも閉鎖となりました。

今年も緊急事態宣言のもと、決して平安な日々とは限らないでしょう。このような状況のなかで、コロナウイルス対策衛生啓発物品（支援物資）の配付が11月1日から始まりました。関係者一同、配付に努め12月15日に終了しました。多くの方から感謝の言葉を頂きました。

これからも自助、そして住民どうしの助けあい（共助）を大切に、住みた

いまち、住み続けたいまちを目指してともに活動していきましょう。

交流センターの建設については、前号でも述べましたが、給食センター跡地が整地され、去年の10月14日に地鎮祭が行われました。ここからがスタートです。完成は、来春の予定です。二瀬地区発展の資となることと確信しています。何よりも皆さんにとって「交流センター」が身近な存在となることを祈念しています。

二瀬地区
まちづくり協議会
会長 緒方 健



コロナ禍でも交流を深める

感染症対策衛生啓発物品配付

飯塚市の新型コロナウイルス感染症対策事業として「エコバッグ（1枚）」「家庭用可燃ごみ袋（中2巻）」「ハンドソープ（1個）」「衛生啓発物品の購入応援券（500円相当）」を昨年11月から12月にかけて各自治会や二瀬交流センターで配付いたしました。

また、今回の配付では、自治会やまちづくり協議会関係者の皆様にご協力をしていただきました。まちづくり協議会の構成団体としてご協力いただいた小中学校PTAや二瀬流、早朝ソフトボールリーグ協会などの方々からは

「普段出会う機会がない方たちと色々な話ができ良かった」との声が挙がっていました。

現在のコロナ禍において、このように地域で活動している方たち同士の交流を深める場となった事も、本事業の成果の一つであったと言えます。



高校受験を乗り越えるために

チャレンジ学習支援

二瀬中学校で高校受験生を対象に「チャレンジ学習」を開きました。

これは3年生の高校受験をサポートするために、九工大生を派遣し、学習をサポートする取組みです。例年10月から2月までの間、毎週月・水曜日の放課後に開き、受験に特化した学習支援を行っています。コロナ禍において、中学生や九工大生が安心安全に学習活動を行なえるよう、フェイスガードや除菌シートを購入・配付しました。

また、今年度は新たに「ふれあいフードバンク飯塚」の支援を受け、月1回、食品を受講生に提供しました。

(教育部会)



今年こそは農業体験を

農業体験

例年の農業体験は、新型コロナウイルス感染症対策のため、事前学習・田植え・稲刈り

・もちつき、どれも体験することが出来ませんでした。

でも、淀川さん(田の提供・指導者)が、稲作を実施してくれ、大豊作でした。

福祉部会では、この豊作のもち米を皆さんに食べてもらい、新型コロナに負けない気持ちになってもらえればという結論になりました。もち米を大サービスして販売し、多くの人に購入していただきました。今年こそは、子ども達の農業体験が実施できるように、心より祈っています。6年生の皆さん、新型コロナに打ち勝って、二瀬中学校の新1年生になって、頑張ってください。(福祉部会)



次の時代へ

二瀬流 (体育部会)

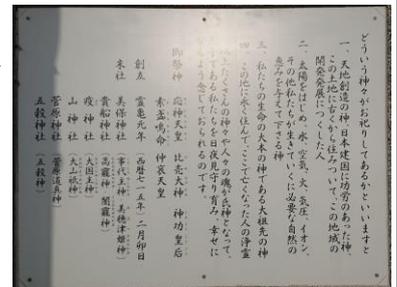
ご存知の通り昨年、山笠は延期を余儀なくされました。

令和元年は追い山で最高成績の3位となり、その勢いのまま令和2年は優勝と行きたかったものです。

加えて、令和2年は二瀬流10周年

の年でもありました。これを機に、優勝へ向けて弾みを付ける意味でも、台飾りを新調します。

題材は、私達二瀬の鎮守様である高宮八幡宮の守り神「応神天皇」です。楽しみにしてください。



今後の災害に備えを

環境部会活動

環境部会では、主に環境整備や防災・防犯活動を行っています。

今年度は、防火研修や防犯研修を計画していましたが、コロナの影響により残念ながら実施できませんでした。

それでも、今年度は新しい生活様式を実践しながら、各自治会での清掃活動を行っていただきました。

しかし、入学シーズンに合わせて行われる恒例の九工大周辺の清掃活動「クリ

ーンキャンペーン」は、飯塚市の感染状況や1月に発出された緊急事態宣言を基に慎重に話し合いを行った結果、昨年に引き続き、中止する事としました。

このような中、現在環境部会では大雨など今後の災害に備えるために、避難所となる二瀬交流センター職員と力を合わせ、避難所の運営について話し合いを行っています。

(環境部会)

